

# ろ舟操作、体験しよう

通年型の観光地を目指す潮来市に協力しようと、清真学園高（鹿嶋市宮中、飯山克則校長の生徒たちが、手こぎの「ろ舟」を実際に操作できる体験型イベントを企画した。県立カシマサッカースタジアムで鹿島アントラーズ戦が行われる5月12日にイベント実施日を設定。他県から来るサポーターらを集め、「潮来の魅力を発信したい」と意気込む。

## 清真学園高生



ろ舟の体験型イベントを企画した清真学園高生＝鹿嶋市宮中

## 潮来 通年型観光向け企画

企画したのは、同校で地域の課題解決方法を学ぶ起業情報発信ゼミの10人。昨年、潮来市職員らからレクチャーを受けるなどして、同市の観光の現状を学習してきた。その中で毎年5月中旬から開かれる「水郷潮来あやめまつり」期間中以外の観光客が少ないことや、アントラーズ戦の観戦者の多くが観光をしないまま帰宅してしまっている課題が分かった。

同市の水辺の活用推進と観光資源発掘を念頭に、生徒たちは昔から水郷地帯で活用されている「ろ舟」に着目した。イベントの実現性や効果的な実施日・時間、参加費などを考慮しながら、普段観光客は乗るだけのろ舟の操作ができる体験企画にたどり着いた。生徒たちによると、左右の力をうまく調整しながらこがなければならず、ボートと比べ操作は難しいが、進むことができるよ

うになるととても楽しいという。

当日は東京ヴェルディ戦が予定され、イベント開催時間は、体験を終えた後でも試合開始時間間に合う午前9時20分と同10時20分からの1時間ずつに設定した。開催場所は水郷潮来あやめ園。プロの船頭の指導を受けた後、「ギッチラギッチラ」とろをこぐ心地よい音を聞きながら、前川での貴重な運航を楽しむ。1グループ7人まで、3舟を用意し、計6グループ募集している。生徒たちは受け付け業務などを担当するほか、タブレットを使っての潮来の歴史も伝え魅力発信に努める。

（小池忠臣）